## 平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教	科	現代文	単	位	数	2	学	科·亨	学年			科·2年		担	当	者	小澤	博	幸·及川	寧					
				副	副 教 材 ①現代文学習課題ノート ②国語辞典 ③新総合国語図説 定 ⑤国語常識と読解演習 ⑥国語基本ワーク								<b>4</b> t	④セレクト漢字検											
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を記						念豆										評価	<u></u> の	重点	į						
・論理的な文章について、,論理の展開や要旨を的確・文学的な文章について、人物、情景、心情などを・さまざまな文章を読むことを通じて、人間、社会				を的								関心・意欲・	す・	書く	読む	知識・									
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)  随想 夢を建てる						主な学習活動・評価のポイント										評価方	法	態度	· 能 力	· 能 力	能力	理  解	
	4	夢	建て を建 せの	てる。	人々		61	て、き 筆者の	きえる D主引	を深張に	<b>楽める</b> こつし	1T.						1	トテス トテス ノート‡	<b> </b>	0	0	0	0 0	
前期中間	5	脳を	生か	る読書 生かす本 ソ、人間失格			に	本の魅力とは何かを読み取り、読書 小テスト に対する関心を持つ。						0		0	0 0	0							
	6	初恋	の人	にあり	げた本	ξ	換·	り返し読むことの意義を考える。 本にまつわる思い出について意見交 作文 換や発表を通じ、進んで読書する態度 ノート提出 を養う。 定期テスト						0		0	0								
前期末		パラ		イの	オムラ	ィイス						を叙述 青景描						1	トテス ノート打	<b> </b>	0		0	0	
	7	もも	。ユ この にか	いき	もの図	鑑		文章を ついて			5。	ニーク: 3上	な乳	<b></b>	・視	点			トテス トテス	<b> </b>	0		0	0 0	
	8	· 空飛 ·	ぶ魔	篭法のほうき				作文 常識的なものの見方、感じ方を逆転 小テスト させた発想性を理解する。						ト 是出	0	0		0							
			。ユル風		ア。 ひき方	ī		筆者独特の発想と感性に触 した文章表現について学ぶ。						. I	<del></del> 夫			<del>E                                    </del>		0			0	0	
	10		と共 的視里		「やさ	こしさ」		文章の構成に留意しながら、筆者の ノート提出 主張を的確に読み取る。							0	0		0							
	10	ゴリ	ラの	思いる	やり						制や要旨を か考え方を					íの			トテス ノート‡		0		0	0	
	11				水源材	<b>T</b>						生のあ させる。		うに <sup>*</sup>	つい	て		፟፟፟፟፟፟፟	同上 b期テン		0		0	0	
		小説 人の   待合 	室		ବ			登場人 、話 <i>0</i>				が推移 <sup>、</sup> つう。	を白	勺確(	こと	5			トテス ノート‡		0	0		0	
	12	詩 小諸	名作のひびき 小諸なる古城のほとり 小景異情 六月				情景、心情をとらえ、音読を通して ホテスト 名作に親しむ。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							000	$\circ$		000								
	3	雪国 風立	は猫 ] [ちぬ )又三		3			日本文幅を位			きかな	ふ伝統	を知	::1り、	、読	書		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	同上		0000	00		0000	

## 平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教		現代文		数 2	걸	営科・≒	学年	全学	:科·3年	担	当	者	桑田哲	朗·辛	史子	-3 12			- 3 H-1	1
使用教科 <b>新編現代文 改訂版(大修館書店)</b> 副 教 材 ①現代文学習課題ノート②パスポート国語必携③新総合国語図説④国語辞典 到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】) 評価の重点																				
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導・社会人になる上で必要な基本的な国語の知識を身につけ、活用するこ・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現・さまざまな文章を読むことを通じて、人間、社会、自然などについて							ことができる。 現を味わう。							関心・意			読	知		
学期	月	学習項目 (単元名、教材	才、学習領域		主な学習活動・評価のポイント								評価方法	法	態度	く能力	く 能 力	む能力	理 解	
前期中間	4	どんな	人たちへ な人になり; 単純化」に						人間と )て考え		の在	り		小テス   ノート掼 短作文	出		0	0	0	0
	5	気に	しの中の言 なる日本語 の力関係			り、要問	旨と	筆者の	で書かれ 0主張を 1や情報	つか	み、1	É		同上 問題演 <sup>:</sup>	習	0	0	0	0	0
	6												5	同上 定期テス	<b>.</b>			0	0	
前期末	6	働く	に生きるということ		lã	こつい	て考え	える。	こきの労					小テス   ノート掼 短作文	<b>≧出</b> て	0 0 0	0	0	0	
	7		シャリスト	トになり7		人間を(	いう	のかを	ト」とは E的を的 E考える	確に		) <i>(</i> C		問題演 <sup>注</sup> 読書体駒		0	0	0	00	0
	9	短歌 郷土 郷土	と短歌・俳 の詩歌	<b></b>			詠み、		関わりの 号・心情					同上 定期テ <i>ス</i>	<b>.</b>	0			0	0
後期中間	9		を考える しみ」の復	夏権			え方	を追す	こついて えし、自 ふげる					同上			0		0	
	10	小説 山月	記			古代中国を舞台に描いた作品を読み、漢文派の表現を味わい、主人公の心情の移り変わりや作品の主題を読み深める						同上			0	0	0			
	11				ā	元み深め	める						5	定期テス	. ト					
学年末		評論 カラダ	でにいま何が減	起きている	のか   見				系に注意			の		同上			0	0	0	
		随想 今に <u>*</u> ひか	生きる古典 りのどけき		_		情な		こついて 対確にと					同上		0		0	0	
	3												5	定期テス	. ト					